

(活動報告書様式)

助成事業実施 団体名	野良猫クラブ		
実施事業名	地域猫活動		
助成事業区分	協働助成事業(一般型) 【県政課題名： 協働助成事業(テーマ希望型) 【テーマ名：山形テレビ 動物愛護活動 支援事業】 団体支援助成事業		
団体の所在 市町村名	山形市	事業費及び 助成額	事業費 153,550 円 助成額 153,550 円



捕獲器に入った様子
勉強会



不妊去勢手術の印

■ 事業目的

平成9年に横浜市で始まった「地域猫活動」が、全国で成果を上げているが、山形県内では実施例がなかった。

今回、モデル地区にしたのは、猫のふん尿被害などで困っていた地域で、住民主体の「地域猫活動」を実践してもらうことを目的とした。

■ 実施内容

①地域猫活動の勉強会

7月2日・30日

「地域猫とは・地域猫活動の具体的方法」についてテキストで説明した。

②野良猫対策会議

9月10日

住民へのアンケート(猫の情報・活動への参加な

ど)の結果を受けて、町内会で実施した。

10月1日

捕獲に向けての日程・役割分担を確認した。

③不妊去勢手術の実施

11月9日 2匹

11月13日 1匹

11月16日 1匹

11月20日 2匹

11月23日 1匹

11月26日 1匹

「捕獲器」を使用。8匹(オス3匹、メス5匹)の手術を実施した。

④活動報告

12月10日

活動の報告と、今後の課題(手術費用・エサ代)などを話し合った。

■ 事業の成果及び今後の展望

地域のすべての野良猫に手術は出来なかったものの、8匹を手術し、置きエサをしないなど飼育管理を徹底して地域の環境を改善した。また、モデル地区での活動が新聞・テレビで大きく報道され、「地域猫」の認知度が上がった。

「地域猫活動」は、地域ぐるみで猫の世話を続けるので、交流が広がり、コミュニティ対策としても有効のようだ。人と猫が共存して幸せに暮らせる社会を目指して、「地域猫活動」の普及に努めていきたい。